

## 世界最大の見本市「シラ国際外食産業見本市」 世界コンクール出場の日本代表団壮行会開催



フランス・リヨンで、1月24日～28日に開催される「シラ国際外食産業見本市」内で行われる、世界各国の料理人による国際コンクールのイベントに出場する日本代表選手が集結し、在日フランス大使公邸で壮行会が行われた。

同見本市内で行われる、日本代表選手が臨むコンクールは、1987年にポール・ボキューズ氏が設立し、フランス料理の登竜門としての役割を果たしている「ボキューズ・ドール国際料理コンクール」、世界最高峰のパティシエを選出する国際洋菓子コンクール

「クープ・デュ・モンド・ドゥ・ラ・パティスリー2009」、国際パンコンクール「モンディアル・デュ・パン」と、チーズ流通業者を対象に行う「インターナショナル カゼウス アワード」の4部門。

壮行会では、これまで各地の予選を勝ち抜いてきた各代表選手が勢揃いし、フランス本選に向けての結束を固めた。

日本ボキューズ・ドール委員会代表である、レストランひらまつ平松博利氏は、「2年に1度行われる世界中の料理人たちが集まる料理のワールドカップで、非常に権威のあるコンクールです。選手の方は、ベストを尽くして、世界No.1になるぞという気持ちを持ちながら、調理場では謙虚な気持ちで挑んで欲しいです。また、勝つことは大事ですが、このコンクールをもっと日本に広めていくことも大切なことです。みなさん応援をよろしくお願いします」と4部門のコンクールの代表として、抱負を語った。

シラ国際外食産業見本市は、食に関する世界最大規模の国際見本市で、出展者数は約2000社。出展品目は、業務用食品、飲料、食材、レストラン、ホテル、ケータリングなどで、期間中は各国のシェフによるコラボレーションイベントやデモンストラレーション、各国際コンクールなどが開催される。